



吉崎別院便り

# バラバラでいっしょ！

になれるところ

## 夏の御文永代経を勤修



琵琶の弾き語り伝える榎野師

6月24、25日の二日間「夏の御文永代経」が勤まりました。法要では、三部経の読経と蓮如上人が明応七年にお書きになった『夏の御文(げのおおふみ)』の拝読があり、参詣者延べ一五〇人が心静かに拝聴しました。今年で三年連続のお迎えとなる講師・榎野明仁師(岡崎教区本澄寺住職)は、琵琶の音色とともに蓮如上人のご苦勞を語ってくださいました。参詣者の中には、今年三月に結成された「一般社団法人・蓮如の里吉崎」の会員や吉崎在住の皆様も見受けられ、往時の賑わいを感じる「聴聞繁盛」の法要となりました。

### 熱心に聴聞される参詣者



蓮如上人の絵解き説教を聴聞なさった小林治樹さん(兵庫県明石市)は、「初めて絵解きで蓮如上人のご生涯を知らされました。琵琶の音色と供に分かりやすく聞かせていただきました。」と話してくださいました。

### 参詣者をお抹茶で接待



「ご参詣の皆様にご一服のお抹茶で清々しい時間をぜひお過ごしいただきたい。」と、多賀笑美子さん(石川県川北町在住・茶道裏千家准教授)のお申し出により、25日のお齋後に茶席がもうけられました。多賀さん他、お茶仲間四名による参詣者へのお点前が進むと、「お点前を頂戴いたします」との挨拶も聞かれ、和やかに楽しい時間が流れていきました。